

株価	1,165 円	売上高 EV/売上高	EBITDA EV/EBITDA	営業利益 EV/営業利益	当期利益 PER	株主資本 PBR
金融債務	6,904 百万円	09/3a	78,163	3,564	730	35,912
現金等価物	13,774		0.4x	8.5x	41.7x	1.0x
ネット金融債務	-6,870	10/3a	74,917	5,123	2,574	35,978
			0.4x	5.9x	11.8x	1.0x
時価総額	37,281	11/3e	80,000	5,900	3,500	-
企業価値(EV)	30,411		0.4x	5.2x	8.7x	26.6x

* 金融債務には少数株主持分を含む

11年3月期の会社業績予想、営業利益35億円には上ぶれの余地があり、投資判断 Buy を付与する。

本書は投資家のための参考情報であり、投資勧誘を意図しておりません。投資にあたっては読者自身の責任で判断して下さい。本書の内容は作成日の筆者意見であり、万全を尽くしてはおりますが、その完全性・正確性を保証するものではなく、予告なく変更されることもあります。本書の著作権は浜町 SCI にあり、浜町 SCI の事前の許諾なしに、複製・転送・引用を行うことを禁じます。浜町 SCI は本書で言及した株式について、なんらかのポジションを有していることがありうることをご了解下さい。

5月7日に10年3月期の決算を開示し、本日、決算説明会を開催した。

10年3月期は、営業利益が3.5倍に

10年3月期の業績は、売上高74,917百万円(前期比4.2%減)、営業利益2,574百万円(同252.6%増)だった。09年3月期第4四半期を底として、業績は回復基調にある。大幅増益となったのは、各地域で生産性の向上、製造コストの低減、各種経費節減への取り組みを実施したことが実ったものだ。

メカトロ、サプライともに損益が改善

製品群別では、

- メカトロ製品：売上高28,363百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益843百万円(前年同期は営業損失81百万円)。
- サプライ製品：売上高46,553百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益1,730百万円(同113.3%増)。

欧州、アジア・オセアニアで、損失幅が縮小

所在地別では、

- 日本：売上高56,819百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益3,020百万円(同4.7%増)。
- 北米：売上高6,114百万円(同18.4%減)、営業利益231百万円(同16.0%減)。
- 欧州地域：売上高6,875百万円(同18.7%減)、営業損失555百万円(前年同期は営業損失1,559百万円)。構造改革を進め、ドイツ、スペイン、イギリスの子会社で固定費削減により赤字を縮小した。イギリス子会社は単月で黒字化。
- アジア・オセアニア：売上高5,107百万円(同1.6%増)、営業損失90百万円(前年同期は営業損失517百万円)。シンガポール子会社の閉鎖、販管費削減により、営業黒字に。

13年3月期までに売上高 950 億円、営業利益 60 億円を目指す

このような経営環境の下、会社は、2008 年後半からの厳しい状況から早急に脱却し、持続的な成長を実現するため、新たに 11 年 3 月期を起点とする「中期経営計画」(~13/3 月期まで)をスタートした。本計画では、「収益力を伴った成長企業」を目指し成長軌道を確立することを基本方針に掲げている。13 年 3 月期までに、売上高 950 億円、営業利益 60 億円、営業利益率 6%以上を数値目標として掲げている。

今期の会社業績予想は無難なもの

3 か年計画の最初の期である 11 年 3 月期の会社業績予想は、売上高 80,000 百万円（前期比 6.8%増）、営業利益 3,500 百万円（同 35.9%増）とされる。前期の後半は売上高 38,434 百万円、営業利益 1,805 百万円まで回復してきており、今期予想は無理のないものと見られる。市況の回復次第では、十分上ぶれもありうる水準である。

なお、前提の期中平均為替レートは、USD1=90 円、EUR1=125 円。

投資判断 Buy

今期の会社予想に上ぶれの可能性があることを考えると、現状の EBITDA 倍率 5.2 倍には割安感がある。ニッチの有力企業として、投資判断 Buy を付与する。